酒々井町補正

PFIの可能性調査

酒々井総合公園を活性化

酒々井町は、18日開催の4月臨時議会に、一般会計補正予算案第1号と下水道事業会計補正予算案第1号を上程する。

一般会計で、国の「先導的官民連携支援事業補助金」を活用して実施する酒々井総合公園Park―PFI・スモールコンセッション導入可能性調査に1206万円を計上している。酒々井総合公園は、墨44に所在。敷地面積は12・4ha。Park―PFIの導入による公園の活性化と併せ、情報発信施設や古民家などと一体的な利活用を検討する。

また、自然災害など発生時の指定避難所となっている町内小学校2校・中学校1校の体育館におけるスポットクーラーの購入および設備工事などを行うため、備品購入費1021万9000円を措置。県の「地域防災力充実・強化補助金」を活用する。

補正により3638万8000円を増額し、一般会計総額は80億4545万8000円となる。

下水道事業会計では、1月に埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受け、国の「大規模下水道管路特別重点調査等事業交付金」を活用して実施する、中川1号幹線（東酒々井）の緊急度判定調査および路面下空洞調査に係る経費を計上。

これに伴い、資本的支出について、739万2000円を増額し、総額を2億2514万6000円とする。

日建連・全建・道建協

中野国交相に要望

国土強靱化中計 25兆円規模を

日本建設業連合会（日建連）、全国建設業協会（全建）、日本道路建設業協会（道建協）の3団体は14日、中野洋昌国交相に対し「国土強靱化実施中期計画に関する要望」を行った。

中野国交相を中心に要望書を手にする会長など

国土強靱化実施中期計画の事業規模について5か年25兆円を求めた。

日建連からは宮本洋一会長、押味至一副会長、蓮輪賢治副会長（事務局から山本徳治事務総長、永森栄次郎専務理事、岩田圭剛常務執行役、中原淳常務執行役が同行）、全建からは今井雅則会長（事務局から山崎篤男専務理事、石田信夫常務理事が同行）、道建協からは西田義則会長（事務局から森戸義貴常勤顧問専務理事代行が同行）がそれぞれ出席。佐藤信秋参議院議員も同行した。

要望内容は「地域建設業がその社会的使命を持続的に果たしていくためには、健全で安定した経営が必要であり、そのために安定的・持続的な公共事業量の確保、経営見通しが立つような長期的な事業計画の策定が不可欠で、その配慮を求める」としている。国土強靱化実施中期計画の事業規模については、少なくとも25兆円としている。

要望書を受けて中野国交相は「大阪万博も無事スタートし、建設業界の多大なる支援に感謝申し上げる」と切り出し、中期計画については「5年で20兆円強程度、今後の資材価格・人件費高騰等の影響を予算編成過程で適切に反映することとなっており、6月に向けて取りまとめていく。皆さん方の力と、佐藤先生をはじめとして国会の先生方のご支援でまとめていきたい」と語った。

加えて「働き方改革、i―Constructionと、さまざまな課題があるが、今後の施策に反映させていきたい。建設業の担い手は社会の守り手であり、その認識が世の中の流れに定着する方向で政策を進めていきたい。そのためにも大事な中期計画であり、6月にしっかりまとめたい」と返答した。

東京湾口航路

中央航路に7億円

航行環境改善へ 第二海堡護岸工も

東京湾口航路事務所は15日、2025年度の事業概要を発表した。東京湾中央航路開発保全航路整備事業に6・96億円を投入。東京湾中央航路の航行環境の改善に向け、第二海堡護岸の維持管理工事、東京湾中央航路の航路管理パトロールおよび管理測量、中ノ瀬西方海域の浅瀬浚渫などに関する調整を実施する。

東京湾中央航路開発保全航路整備事業の位置図

東京湾中央航路は、東京港、横浜港、千葉港などに出入りする船舶が航行する重要な海域で、コンテナ船などの大型船が1日500隻ほど航行する、海上交通の要衝。事業の実施により、東京湾内における海難が減少し、船舶航行の安全の確保され、円滑な海上輸送が可能となる。

また、東京湾海洋環境整備事業に1・41億円を投じる。清掃兼油回収船「べいくりん」による浮遊ごみ・油の回収や、海洋環境把握のための水質データなどの取得を行う。

四街道市

きょうからパブコメ

文化C大規模改修計画案

四街道市は15日、文化センター大規模改修工事計画案を公表した。工事では、施設の長寿命化やバリアフリー化を行うほか、市民ギャラリー、歴史民俗資料施設など新たな機能を設置する。16日から5月15日にかけて、計画案に対するパブリックコメントを実施。対象は、市内在住、在勤、在学者など。計画案は、管財課、情報公開室で閲覧に供しているほか、ホームページからダウンロードできる。6月頃、提出された意見の概要と市の考え方などを公表する。

工事概要は▽施設の長寿命化＝屋上の防水改修、外壁の塗装改修、機械設備や電気設備などの更新▽バリアフリー化＝バリアフリー駐車場の整備、スロープの新設・更新、バリアフリートイレの設置▽新たな機能の設置＝市役所第2庁舎から文化センター会館棟への市民ギャラリー移転、歴史民俗資料施設の新設▽機能の向上＝会議室の防音性能向上、トイレの洋式化▽施設の有効活用＝中庭の改修およびフリースペースとの一体的利用による憩いの場・にぎわいの場の創出。

文化センターは、大日396の敷地面積約1万6096㎡に所在。建物は、SRC造地下1階地上3階建て、延べ床面積約6218㎡、1980年3月完成の

小規模保育A型開設へ

船橋市 3事業者程度募集

船橋市は、小規模保育事業A型を2026年4月1日までに設置・開設し、運営を行う事業者を3者程度募集する。募集対象地域は、東武野田線塚田駅、JR船橋法典駅、JR船橋駅、JR東船橋駅、京成松戸線北習志野駅、京成松戸線二和向台駅から直線距離で約500m圏内。

応募資格要件は、認可保育所・幼稚園等・小規模保育事業A型のいずれかを2年以上運営している法人など。

6月13日まで事前相談・質疑、16日から27日まで応募書類の提出を受け付け、7月上旬から中旬にかけて現地確認と書類審査を実施。同月下旬～8月上旬に事業者選定委員会による審査を開催し、同月中旬に事業者を内定。11月下旬の着工を目指す。

募集対象事業は、建物を賃借または自己所有し、内装改修などにより整備する小規模保育事業A型。また、市内の保育所、幼稚園、認定こども園を連携施設として設定する。

定員は原則15～19人とし、1歳児と2歳児の定員を設ける。

敷地は、原則として幅員6m以上の公道に4m以上接道し、敷地外に出ることができる2方向の避難路を確保する。

整備に対する助成として「小規模保育事業施設整備費補助金」などが予算額の範囲で配分される。

習志野市インフラ協

耐震管の技術深める

クボタ京葉工場で講習会

（一社）習志野市インフラ協議会（会長＝岩井健・㈱サクラ設備代表取締役）は11日、技術講習会を船橋市の㈱クボタ京葉工場で開いた。受講者は協議会加盟者12社と、㈱ナラデンから約30人。講習会では、耐震管（ダクタイル鉄管）に関する講義を実施。さらに、製造工程の見学や、施工管理の留意点に配慮した実技を行い、受講者の技術・技能の向上に取り組んだ。

講習会の様子

耐震管の仕組みについて学んだ

耐震管接合の実技を行った

講師を務めた㈱クボタ東京本社パイプシステム事業部の石川大輔氏は「災害に強い耐震管の特性」「信頼できるパイプラインの構築方法」「ダクタイル鉄管の施工管理のポイント」をテーマとし、耐震管の歴史、腐食防止対策、施工性、施工管理ポイント、継ぎ手形式ごとの特性、接合方法について講じた。

製造工程の見学では、徒歩で工場内を巡った。橙色（だいだいいろ）に溶けた鉄を別容器に移し替える工程を見学した受講者は、興味深げに見入っていた。また、施工管理の留意点に配慮した実技では、耐震管2本の接合を行った。

研修は、建築・設備施工管理CPD制度の対象。

工場見学を兼ねた技術研修会は、今回で2回目。第1回は2024年6月28日に、「防災」をテーマとして市原市の千葉積水工業㈱事務所で開催した。

入札参加資格審査申請随時受け付け

印旛郡市広域市町村組合

印旛郡市広域市町村組合は、入札参加資格審査の申請を随時、受け付けている。2025年度に組合が発注する建設工事、測量・コンサルタント、資材・その他の契約に係る入札に参加を希望する場合、審査を受けて入札参加資格者名簿に登載される必要がある。

申請受付期間ごとの名簿登載予定日は▽30日まで＝6月2日▽5月1～30日＝7月1日▽6月2～30日＝8月1日▽7月1～31日＝9月1日▽8月1～29日＝10月1日▽9月1～30日＝11月4日▽10月1～31日＝12月1日▽11月4～28日＝26年1月5日▽12月1～26日＝26年2月2日▽26年1月5～30日＝26年3月2日。

資格の有効期間は、名簿登載日～26年7月31日。

日本住宅の一括高齢者向け住宅

柏市豊四季に

日本住宅㈱日本ジョイントパートナーズ事業部（東京都千代田区丸の内2―4―1丸の内ビルディング17階、電話03―6870―6006）は、柏市豊四季字低見637―36ほかに個人が新築する、木造2階建ての高齢者向け住宅の設計・施工を請け負っている。8月29日に着工し、2026年7月11日の完成を予定している。

建設地は、豊小学校の南側。敷地面積は2232・57㎡。

新築規模は、建築面積928・98㎡、延べ床面積1855・78㎡、高さ7・806m。

事業に関する問い合わせは、設計・施工者まで。

柏市内工事一覧

建設リサイクル法 3月

カシワバラで15階共住

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に基づき3月、柏市へ届け出された工事をまとめた。㈱カシワバラ・コーポレーションは、サムティ㈱東京支店が東1―2―44に新築する15階建て、延べ床面積3204・3㎡の共同住宅の施工を請け負っている。

主な物件は次の通り。

新築

〔▽発注者＝①工事場所②用途③階数、工事対象延べ床面積④施工者⑤予定工期〕

【（仮称）東1丁目計画新築工事】

▽サムティ㈱東京支店（東京都千代田区）＝①東1―2―44②共同住宅③15階、3204・3㎡④㈱カシワバラ・コーポレーション（東京都江戸川区）⑤4月1日～2027年1月29日

【柏北部中央地区81街区D―ROOM新築工事】

▽個人＝①柏北部中央地区81街区1画地ほか②共同住宅③3階、1413・1㎡④大和ハウス工業㈱柏支店（柏市）⑤4月15日～11月13日

【柏B04―1―1・13棟】

▽中央グリーン開発㈱（埼玉県越谷市）＝①篠籠田字内野710―1②戸建て住宅③2階、1307・04㎡④ポラテック㈱（松戸市）⑤4月12日～7月26日

【（仮称）柏の葉販売センター】

▽三井不動産レジデンシャル㈱千葉支店（千葉市）＝①正連寺字出山434―22②事務所③2階、991・83㎡④㈱彩都コーポレーション東京支店（東京都千代田区）⑤3月31日～7月31日

【初石74―1期新築工事】

▽中央グリーン開発㈱＝①西原6―578―220②戸建て住宅③2階、805・7㎡④ポラテック㈱⑤6月7日～9月15日

【㈱銀座アスター邸新築工事】

▽㈱銀座アスター（東京都中央区）＝①北柏駅北口土地区画整理事業地内②共同住宅③3階、755㎡④パナソニックホームズ㈱東京支社（東京都新宿区）⑤4月15日～26年2月28日

【新築工事】

▽個人＝①東1―869―1②共同住宅③3階、659・92㎡④パナソニックホームズ㈱千葉支社（千葉市）⑤3月24日～26年3月31日

【㈱スーパーグッド邸新築工事】

▽㈱スーパーグッド（東京都文京区）＝①つくしが丘1―1528―3②共同住宅③4階、504・53㎡④積水ハウス㈱常葉シャーメゾン支店（柏市）⑤4月5日～26年1月26日

土木等

〔▽発注者＝①工事場所②施工者③予定工期〕

【我孫子保線技術センター管内軌道改良工事】

▽東日本旅客鉄道㈱我孫子保線技術センター（我孫子市）＝①常磐線柏～南柏駅付近②ユニオン建設㈱東京支店（東京都北区）③3月26日～26年3月25日

【我孫子保線技術センター管内軌道修繕工事】

▽東日本旅客鉄道㈱我孫子保線技術センター＝①常磐線柏～南柏駅付近②ユニオン建設㈱東京支店③3月15日～26年3月14日

【田中（正連寺）通信設備総合工事】

▽東日本電信電話㈱千葉事業部（千葉市）＝①正連寺345ほか②㈱ミライト・ワン（東京都江東区）③4月7日～8月8日

建築物の解体

〔▽発注者＝①工事場所②用途③階数、工事対象延べ床面積など④施工者⑤予定工期〕

【エスファクトリー千葉解体撤去工事】

▽柏開発特定目的会社（東京都千代田区）＝①新十余二8―1②工場③平屋、3665㎡④㈱LCG開発（兵庫県尼崎市）⑤3月24日～9月12日

【大和工業㈱解体1期工事および2期工事】

▽大和工業㈱（柏市）＝①高田1303②工場③2階、3500㎡④初谷建設㈱（栃木県佐野市）⑤4月7日～6月30日

【柏自動車教習所解体工事】

▽㈱MKA（松戸市）＝①松ケ崎1201②教習所③2階、1102㎡④コウナン興業㈱（千葉市）⑤4月15日～7月19日

【篠籠田解体工事】

▽個人＝①篠籠田149―1ほか②集合住宅③2階、715・46㎡④㈲アンナカ造園（船橋市）⑤3月10日～4月30日

【S造解体工事】

▽合同会社カトー（静岡県静岡市）＝①豊上町3―1②集合住宅③3階、661・15㎡④合同会社翔榮（柏市）⑤4月1日～5月30日

【桜台コーポ解体工事】

▽㈱エステート・プラン（市川市）＝①桜台8―3②共同住宅③2階、324・6㎡④㈱Dカンパニー（埼玉県八潮市）⑤4月1～30日

▽巧ホールディングス㈱（鎌ケ谷市）＝①東1―1505―3②共同住宅③4階、504・53㎡④積水ハウス㈱常葉シャーメゾン支店（柏市）⑤4月5日～26年1月26日

コンクリメンテ協

8月に東京フォーラム

ティアラこうとうで27、28日

（一社）コンクリートメンテナンス協会（徳納剛会長）は、8月27日（水）と28日（木）の2日間にわたり、東京都江東区の江東公会堂（ティアラこうとう）で「コンクリート構造物の補修・補強に関するフォーラム2025」（東京フォーラム）を開く。参加費は無料、定員は1200人で、定員になり次第、締め切る。両日とも5部（講演）で構成し、講演時間は午前10時30分から休憩を挟んで午後5時まで。参加希望者は、同協会事務局のホームページから申し込む。

持続可能な未来を見据えた維持管理

今回のフォーラムのテーマは「持続可能な未来を見据えたコンクリート構造物の維持管理」。最新の維持管理技術や補修手法を詳しく解説するとともに、現場で直面する具体的な問題を取り上げ、その解決策を共有する。さらに、国土交通省や高速道路管理会社から講師を招き、道路管理者の観点から、維持管理のあり方についても議論を深める。土木学会認定CPDプログラムとして、6月から全国12会場で開催する運び。東京フォーラムの主なプログラムは次の通り。

【8月27日】（1日目）

〈第1部〉「国土交通行政の最新動向」（仮）／国土交通省〈第2部〉「セメント産業の持続的発展への貢献とセメント系補修材が果たす役割」／水島　潤・（一社）セメント協会〈第3部〉「コンクリートの劣化機構を理解して維持管理に活かす」／江良和徳・（一社）コンクリートメンテナンス協会技術委員長〈第4部〉「道路橋床版の長寿命化技術」（仮）／松井繁之・大阪大学名誉教授〈第5部〉「持続可能な未来へ向かうコンクリート構造物の非破壊検査・点検技術」／真鍋英規・㈱CORE技術研究所代表取締役社長

【8月28日】（2日目）

〈第1部〉「首都高速道路における維持管理の取り組み」（仮）／首都高速道路㈱〈第2部〉「電気化学的防食工法の設計・施工・維持管理」／佐々木　亘・三井住友建設㈱技術開発本部、CP工法研究会、エルガード協会〈第3部〉「適切なコンクリート構造物の維持管理から持続可能な未来を」（仮）／宮川豊章・京都大学名誉教授〈第4部〉「コンクリート構造物の長寿命化における亜硝酸リチウムの役割」／江良和徳・（一社）コンクリートメンテナンス協会技術委員長〈第5部〉「コンクリートに生じる変状とその対応」（仮）／十河茂幸・近未来コンクリート研究会代表